

---

# 宇和島市教育委員会会議録

---

平成28年1月定例会

平成28年1月15日開催

宇和島市教育委員会

# 宇和島市教育委員会 平成 28 年 1 月定例会 会議録

1. 開会日時 平成 28 年 1 月 15 日（金）15 時 59 分～

2. 場 所 宇和島市役所本庁 第 1 委員会室

3. 出席者 教育長 織田 吉和 委員 高山 俊治 委員 廣瀬 孝子  
委員 木下 充卓 委員 弓削 由美子

4. 欠席者 なし

5. 会議に出席した公務員の職氏名

教育部長	上田 益也	教育総務課長	横山 泰司
学校教育課長	岡本 一平	生涯学習課長	寺尾 利弘
中央図書館長	毛利 功	人権啓発課長	山崎 崇
文化・スポーツ課課長補佐	森田 浩二	伊達博物館長	本田 耕一
教育総務課課長補佐（吉田教育係）	藤本 浩雄		
三間教育係係長	末光 優子		
教育総務課課長補佐（津島教育係）	梶原 忠		
	（事務局）		
教育総務課課長補佐	土居 弘	教育総務課係長	田中 栄一
教育総務課主任	中井 公子		

6. 会議概要

(1) 開会宣言（午後 3 時 59 分）

◎教育長

ただいまから、教育委員会 1 月定例会を開会いたします。

それでは、会議に先立ちまして、一言ごあいさつ申し上げます。あらためまして明けましておめでとうございます。今日は 1 月 15 日ということで小正月というか女正月ということで年末年始多忙であった女性を御苦労でしたという感謝を込めて男性がもてなすんでしょうか、今日は節目のお正月の日のお正月の日ですけれども。平成 28 年、2016 年がスタートしましたけれども子どもたちにとりましても、あるいは市内教職員にとりましてもお集まりの皆さんにとりましても大きな事故がないように、市内の子どもたち、教職員の命に関わるような事件・事故がないようなことを願っております。今日は、委員の皆さまには新しい教育委員会制度がスタートして 9 か月近く経ちましたけれども、保護者や地域住民にとって学校を支えてくれる頼もしい存在であるとい

うか、そういう委員会であるというようなことが評価していただけますように今年1年間も取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

## (2) 教育長報告

### ◎ 教育長

続きまして、教育長報告に移ります。12月1日、市の校長会長との面談とありますけれども、これは議会に2日、私のほうに質問が出ていましたので、それを見据えて三間中学校の河野校長に教育長室に来ていただいて、彼は長年中学校教育に携わってきた校長ですし、宇和島南中等のこと、三間中を学校経営していきながら、そのあたりの事を彼にいくつか聞きました。市内の6中学校それぞれ、その地域というか学校の伝統を活かして特色のある取り組みをしているし、確かに宇和島南中等を数人の生徒が受けることによってマイナス面もあるかもしれませんが、そういうマイナス面を嘆いていても仕方がないので目の前の子どもたちというか、入学してきた子どもたちにしっかり力をつけていきたいというようなこととかをどの中学校も取り組んでいるということを話してくれました。特に三間中については場合によっては1クラスになる、三間中の3年生が1年生でスタートした時にはちょうど40名だったそうですけれども、そういうことで3小学校から何人受けるかによって1クラスということも十分予想できますので、やはり中学校にとっては単式というより複数のせめて2学級は編成したいと、そうでないと教職員の数も減ってくるし部活動等々についても困るのでなんとか複数の学級を維持させていきたいことを彼から教えてもらいました。

2日、市議会の定例会がこの日から始まりました。

3日、第1回現存天守4城の意見交換会というのが急に入ってきた話ではあったのですが、12天守のうち、四国に4天守があるのでそのあたりが四国運輸局の部長さんとかJRの担当の方が宇和島市に来られて観光客をつないでいくというか、一つ一つではなくて、あっちも行けばこっちも行ってみようとか、そういう考えでどういうアイデアが出てくるのかというようなことの話合いがこの日あって私も出席しました。

4日、定例校長研修会ですけれども、11月に総合教育会議で策定された宇和島市の教育大綱について各校長に資料を配布しながら大枠のことについてとか振興方針の6つについて簡単に説明をしたところです。

7日、8日、わらび座ミュージカル公演が二つ、岩松小と津島中でありました。これは山本稔基金で取り組んでいたもので、本当は私もどちらかには行きたかったのですが初めての議会に備えて準備をしておりましたので残念ながら2か所については行けませんでした。

9日、市議会定例会第2日目から3日目、4日目とあるんですけれども、この間、いろんな議員さんから教育委員会に向けての質問がありました。主なものを記しますと、清家議員さんからは新教育長として目指す教育はという問いかけがあったり、県立宇和島南中等教育学校のことについてその辺をどう教育長として考えているのかというような問いかけがありました。福島議員さんからは学校での動物の飼育の状況についてとか、あるいは動物愛護の教育のあり方についてど

のように考えているのかという問いかけもありました。我妻議員さんからは生活困窮者の学習支援について問いかけられるようなことがありました。最後に武田議員さんからは学力の推移とか、あるいは教育環境、ハード面などで今後どういう風に取り組んでいくのかということとか、教職員の就労状況とか具体的に言うと中学校の部活動で平日でも帰りが午後7時を過ぎることとか、土日にも出て行って特に子育てに当たっている方にとっては大変ではないかと、残業命令とか残業時間はどのくらいかという指摘がありましたけれど学校では残業とか残業命令を出しているのではなくて先生方の熱い思いで生徒に関わりながらという話をしてきました。

13日、宇和島「おかえりコンサート」が南予文化会館でありまして私も見させていただきました。大変素敵なコンサートでした。

15日、教育環境委員会がありました。

16日からは3日間かけて、5つの教育委員会の各課生涯学習課、学校教育課、文化・スポーツ課、人権啓発課、教育総務課・給食センターを含めてですが、そういうところからヒアリングにて丁寧に説明していただきまして、それぞれの担当の仕事の内容とか課題とか、どういう状況にあるのかということをお話していただきました。

17日、市長との協議では、懸案になっておりました学校教育課の指導主事1名増の案件について最後のお願いに行ってきました。

18日が議会の最終日でした。

19日、午前中に津島町で駅伝大会がありましたが、すぐに引き返して午後の九島地区の説明会に教育委員会の方も含めて行きました。28年度末をもって廃校ということでの説明に行ったわけですけれども、どんな声が聞こえてきたかということ、そこには保護者と自治会長等の地域の代表者の方での会だったのですけれども、九島をコミュニティスクールとして存続できないかというような声があったり、明倫小学校へは行くことはできないのかというようなことがありました。しかし、コミュニティスクールのことも考えていませんし、明倫小学校へというのは橋があちらの方へ架かれば別ですけれども、今の状況の中でそれは考えられないので、これまでの流れの中から鶴島小学校へという話をして帰りました。これからも時間をとってゆっくり理解を求めていきたいと思えます

23日、吉田町のマラソン大会がありましたが、結構たくさん、遠くは松山、八幡浜のほうからもたくさんの幼稚園の子どもも含めて親子で参加されていたチームもありましたが、たくさん参加してくれていました。

24日、わかたけの終業式に出てきましたけれども、ここは通室届が13名でています。13名のうち8名が中学校3年生ですが普通はだいたい10名近くの子が時々ではあっても通室しているのですけれども当日の終業式には6名の児童生徒が出席してまして、そのうち4名が中学3年生でした。私のほうも高校受験のことがあるので冬休みしっかり勉強して目標達成してほしいというような激励の言葉であいさつをして帰りました。

25日、午後から中央学校給食センターの視察に行ってきました。中に入って服装も消毒して、きちんと着替えて1時間半ほど中の様子を見せてもらったのですが、最近の施設として綺麗にな

っているので安心してとも思ったり、また一方で部署部署によっては色々なものを動かしたりするのに大変な労力がかかるというところもありまして、給食の調理にあたっている方々の御苦労を感じながら拝見したところです。

27日、全国各地というか遠くは千葉のほうからも来ていただいて千葉や東京、九州のほうでは鹿児島の方からも来ていたでしょうか100チームほどの中学生が総合体育館の2階のフロアに全部畳を敷きまして、そこで柔道の錬成大会をしていましたが、例年盛大になっているという話を聞いたりしました。前日にも練習をし次の日にも練習をして帰っていったということをお聞きしております。

28日、午後5時からの仕事納め式で年内の執務を終えたということです。

以上で報告を終わります。質問、意見等ありませんか。

— 委員からは特に意見なし。 —

### (3) その他

#### ◎教育長

本日、議案は特にありませんが、何か意見等ありませんか。

#### ◎木下委員

昨日の夜、吉田中学校のほうで、吉田中学校の場合は保健委員会という会議を年1回もっておりまして、学校医のドクターと学校の保健に関わる先生方、それから保護者、PTAの方と教育委員を交えて年に1回生徒たちの保健体育について話し合う会議がありまして、その中で今日の愛媛新聞にも載っていましたが新体力テストの結果とかの報告や、子どもたちの健康状態とかいろいろな報告を受けたんですけども、最後に学校医のドクターからは食物アレルギーによるアナフィラキシーとその対応についてというお話がありまして、ちょうど5年前くらいでしたかね、私が教育委員になった当初も市のほうで市立病院の先生から詳しくお話を聞いたんですけども、その中で、学校医の方や、学校栄養教諭の先生から要望と言いますかお願いというかすぐにはなかなか対応できないのかもしれないのですが、食物アレルギーに対して学校の給食の対応を是非今後考えていただきたいということで、そういう要望がありました。現在は、除去食という対応になっておりまして、子どもたちがそれぞれ食べれないものを給食の中から除いて、保護者や保健の先生と相談して除いて提供しているんですけども、先ほども言われた新しい給食センターもありますので、個別にアレルギーのある子に対しての給食を構えていただいたら安全にアレルギーがある子に対して給食が提供できるのではないかなと。なかなか予算的なこととか、それぞれ人数が少ない割に一人一人のアレルギーの対象が、食べるものがそれぞれ生徒たち、子どもたちによって違うのでなかなか個別に対応するのは難しいかもしれませんが、そういうような対応をしている地域もあるということで私たちもその辺のところを勉強して、できれば将来的には学校給食でアレルギーがある子に個別に学校給食を対応していただければいいのではという御意見が出ておりましたので報告しておきます。

#### ◎教育長

今の件について横山課長、何かありませんか。

○教育総務課長

実際のところ、食物アレルギーは人によっていろいろ種類も違いますし、対応するのめかなり難しいということで、今、除去食という形でしか対応できてない状況なんですけど、教育長報告にもありましたように中央調理場はアレルギーを個別に対応できる調理室を別途構えてはいるんですけど、それでもやはり個別に対応でききれていないという現状がありまして、吉田で今すぐそこに対応できるかというとなかなか難しいかなというところではあるんですけど、どんどん子ども減っている中で、そういう細やかな対応というのを考えていく必要があるんだろうとは思いますが、直ちにというのは難しいのかなとは思っています。そこは懸案事項ではあるので検討していきたいと思っています。

◎木下委員

何度も同じことになりますが、それぞれの子どもたちによってアレルギーの状態も違うので対応も難しいのですけれども、学校医や学校栄養教諭からもそういうような要望もありまして、私たち委員も一緒に勉強させていただいて、子どもたちが安全に給食が食べれるようにしていただいたらと思います。以上です。

◎高山委員

今の件で、2月定例会でいいのですが宇和島市の生徒でどういうアレルギーの子がどれくらいいるのかということをお願いしたい。今、木下委員が話した除去食だからしてもらえないというのは分かるが、吉田地区でどれくらい、中央調理場なら15人いるとか、1人であつたらどうにかできると思うので。

○教育総務課長

分かる範囲で調査して御報告いたします。

○教育部長

教育長。一つ補足させてもらったらですね、ほとんど横山課長が話したとおりなんですけど、アレルギー対応が難しい一つの理由に、例えば牛乳アレルギー、豆アレルギー、麦アレルギーの子がおるとしましよ、一つの学校給食調理場に。それぞれ個別に全部調理しなければならない。同じ調理場の中で作るということはずできません。なぜかと言いますと、豆アレルギーの子が牛乳のところへ入ってきたものをそのまま飲んでしまったら大変なことであつて、子どもにとっては非常に命に関わることなので非常に慎重にしなければいけないということと、1日のカロリー摂取の問題も出てきますから、どうしても弁当を持ってきてくださいということになります。ただ、大洲などはすでに取り組んでいるところも一部あるんですけど、それを直ちに宇和島に置き換えると、そこにまず人件費の問題が出てきますし、設備の問題も出てきますので、またこれ以上の投資をしていった中でですね市長部局の理解が得られるかというとなかなか難しいところがあります。これが正直なところなんです。それと加えてですね、今、教育委員会と言いますより学校現場のほうでは先ほど木下委員さんが言われたように栄養教諭の先生方に頑張ってもらって食育という部分でよくやっています。特に給食の献立、地産地消の状況、一日の

カロリー摂取の問題とかですね、いろいろなところをプリントにさせていただいておりますし、学校によってはですね今日は宇和島のぶりよとか、今日は三間の米よとか放送してくれているところもあるそうです。私もプリントを時々見ているんですが、非常に熱心させていただいていますので、食育という部分は非常に大切な仕事であると思います。といいますのは言い換えますと朝ごはんを食べてこない児童生徒がいると、夜はお菓子で済ますというようなことも時々聞きますので、実際のところは栄養を取っているのはお昼の給食の時間帯だけというような現実もどうもありそうです。これが全体数としてどれだけあるのかということはなかなか分からないんですけども食育という非常に大事な学校教育の中でこのウェイトというのはこれからもどんどん求められていくと思いますので、アレルギー対応と同時にですね並行してやっていく必要があると思います。

#### ○教育総務課長

教育長。補足なんですけど、今年私が給食センター所長になって、1件アナフィラキシーショックと思われる子が搬送されたことがありました。その時には、献立表にですね、アレルギー物質が入っている献立は今日はこの献立にはこういう物が入っていますということで各家庭にお配りしている中で家庭のほうで今日はこれを食べたらいけんよというような形をとっていただいているんですが、たまたまその時はお子さんがそれを言われたのを忘れたのか、間違っって食べてしまってそういう形になったのかということなんですけど、除去食としているのは私が知っているのは牛乳で、豆もしているのかもしれませんが現実的にはそういう形で個別で自分で避けて食べてもらっているというのも実情としてあるのはあるので、それを補完するためのものとすればカロリーが足りないので自分のとこで用意する形にならざるを得ないというところはあると思うんですが、確かに今言われたように一つの種類だけではないので個別にやるとなるとなかなか難しいところもあるんで、そう簡単にはなかなかできなというところは確かにあるんですが。

#### ◎教育長

この件はよろしいですか。他に御意見などありませんか。

#### ○教育部長

教育長。私のほうから情報提供ということで皆さん方へ資料を配っております。まず一つ目は、これはかねがねお話してきたことですが、カラーコピーしている分を御覧ください。これは安倍総理の肝いりですね教育再生実行会議が出している最新版の第八次提言の概要です。要するに教育費にかかるというより教育費にかけるお金を世界レベルで、これも時々フォーラムに出ていましたけれども仁川宣言というのがありまして、そこでOECDの皆さん方がですね数々の議論をなされた結果といいますか、いろんな情報交換をした中で日本の教育にかけているお金はこれぐらいなんだということが示されています。興味がありましたので皆さんにも情報提供ということで見ていただきたいのですが、これを宇和島に置き換えたらどうなるんだということは確かにあるんですが、ところが宇和島は設備投資に一番お金がかかっておりまして、ちょっとのことがなかなか前に向いて進んでいっていないということが実はあります。これからそういうところへシフトしていくということで我々も考えていかなければならないと思いますので、こういうことを

念頭に置いていただいてインターネットの情報なども皆さん方に御覧いただきながら今後の教育委員会の中でですねいろいろな議論をしていければと思っておりますので、まず一つ報告しておきます。それから二つ目なんです、今度は中央教育審議会、これは文科省の諮問機関なんです、これは全部コピーしますと70ページに余りますので第1章の部分だけをコピーしております。これも最新版の答申なんですけれども年末に出されております。これは今回は定義がありまして、よくいう地方創生の形です。これが教育の現場でどのような形で出てくるかということで今後の推進方策が出てきますが、ざっといけばですね、1ページに「はじめに」という見出しがあると思いますが、ここにどのような内容が書かれてあるのかということがほとんど示されておりますので、持ち帰って見ていただければと思うんですが、概ねですね最近よく出てくるコミュニティスクールの問題であったりですか、学校と地域の連携、保護者との連携というところが含まれております。最終的には地域と学校が一体化して地域が学校教育を支えていくんだというようなことが示されているんですが、なかなかこれも宇和島市が一足飛びにできるかというとなかなか難しい問題があります。ただ我々も今、手をこまねいているということではなくて学校教育と社会教育の分野あるいは学校教育と文化・スポーツ、学校教育と人権啓発というような形です、いろんな連携を手探りで探っていこうというような動きをしてはいるつもりです。予算、お金のかからない分野ですね何ができるかということを探っていき中身のあるものにもっていき地域の皆さん方、また学校の児童生徒、教職員の皆さん方にですねいろんな呼びかけをしていこうかなということ考えておりますので。またこれもインターネットにも出ておりますので、また何かの機会に見ておいてください。それからもう一つ、これがですね宇和島市教育委員会事務局組織規則というのがありますが、これは概ね教育委員会の内部の事務分掌表が載っております。27年度です、組織改編を行いまして御覧のように文化・スポーツ課ということで生涯学習課のスポーツ振興係を文化の一つの課の中に含めまして社会教育の分野を充実していくというようなこと思っております。特に今年度につきましては国のほうもスポーツ庁が設立された経緯もありますので、今後においては文化振興、スポーツ振興というところでもですね厚くしていく必要があろうかと思えます。ところがいろんな地方創生の流れ、あるいは今年度につきましては伊達400年祭のからみがありましてうまいように時間配分ができなかったという反省点がありますが、来年度あたりから少しずつ頭出しをしながら各地域の公民館の皆さん方とも連携、もちろん教育委員の皆さん方の御意見をいただきながら議会のほうへもお知恵も借りながらというところで少しずつ進んでいこうと思っておりますので御理解をいただきたいと思えます。今日、事務分掌をお示ししましたのはですね以前私のほうから教育委員会の制度改革に合わせて教育委員の皆さんと一緒に研修をしましょうということで提言をしたと思えます。まだ実行には至っていないんですけれども、まず事務局組織の規則を御覧いただいたうえで、それぞれ、今日はなかなか無理だと思うんですけれども持って帰っていただいて、この仕事は何をする仕事なのか、こういう仕事は教育委員会の中にはないんだろうかというようなところを次回、また次の委員会あたりで御呈示いただければ答えられる範囲で即答しますし、前もってお問い合わせいただければ定例会の中で回答させていただくというようなことで勉強会をしていけたらと思っております。今年度は



年度末いろんな時期かかっておりますので細かい勉強会は難しいとは思いますが来年度に入りましたらなるべく1回ないし2回に1度はですね1時間程度の勉強会をしながら研修会をしながら何かのテーマに基づいてですね、協議を重ねていくというような手法をとりたいと思っておりますので皆さんの御理解をいただければと思っております。どんどん教育委員会の中身をですね厚くしていきたいなという願いがありますので御協力をお願いします。私のほうからは以上です。

◎教育長

他に御意見などありませんか。

— 特に意見なし。 —

◎教育長

それでは次回の日程について。

— 協議のうえ、教育委員会2月定例会を2月4日に開催することを決定する。 —

(4)閉会宣言（午後4時32分）

◎教育長

それでは以上をもちまして、教育委員会1月定例会を閉会いたします。